

市川学園主催 合同読書会 報告

2023（令和5）年8月29日、千葉県私立市川学園主催の合同読書会に本校から2名の図書委員が参加した。（本校以外に昭和学院中学校・高等学校も参加。）

課題図書は、昨年度の市川高校1年「構造読解1短編小説コンテスト（テーマ：思い出）」から選ばれた秀作6編が対象で、この中から一編を「イチ推し」に選ぶという趣旨の読書会を行った。12名の参加者は3つのグループに分かれて、どの作品が最もテーマにふさわしいかという観点で議論した。

各班から選ばれた作品は、「月が夜空に輝く理由」「赤天狗」の2編で、それぞれ代表が作品の優れている点、選ばれるにふさわしい点を根拠として述べた。次に、個人投票を行ったが1回目の投票で前者が過半数を占めたため（8：4）、「月が夜空に輝く理由」が「イチ推し」作品として選ばれた。決戦投票の優劣を決めたのは、テーマの「想い」をより伝えることができたかどうかの差だった。最後に、「赤天狗」の作者がメンバーに含まれていることがサプライズとして発表され（幸い「赤天狗」を選んだグループに入っていた。）場を和ませていた。

今回は中高一貫校の生徒との読書会だったため、中学1年から高校2年まで幅広い年齢の生徒が集まったが、年齢の差を感じさせない活発な議論を見ることができた。貴重な交流の機会を提供していただいた市川学園には感謝するとともに、引き続き協同する関係を築いていきたい。

